

国語科

領域「話すこと・聞くこと」

学習活動例

小単元名：「お話を楽しもう」 指導時数 【話す・聞く】 2／3 時間扱い

- ねらい
- ・教員が読むお話を聞き、お話の世界を楽しむ。
 - ・本を読む楽しさを知り、読書への興味・関心をもつ。

幼稚園・保育所で経験してきたこと

- ・幼稚園や保育所では、日常的に読み聞かせを行っている。年長になると、絵の少ない長い読み物を、数日かけて、少しずつ区切って読んでもらっても内容を理解することができるようになる。幼児の発達段階に応じて、話を選ぶので、集中して静かに聴くことができる。
- ・自分でもいつでも読めるよう、絵本のコーナーや保育室にも絵本を置いてある。貸し出しもしており、気に入った話は、何度も繰り返し読むこともある。
- ・座り方は、椅子を担任の前に、列にして並べて座ることが多いが、円形に並べるときもある。

接続を踏まえた指導の工夫

- ・緊張の続く入学当初、絵本を読んでもらう時間は、児童が楽しみにする時間でもある。幼児期は、日常的に読み聞かせがあるので、小学校でも積極的に取り入れていきたい。
- ・読んであげた本は、教室に置いて、児童が自分でも読めるような環境があると、読書へつながっていきやすい。
- ・読み聞かせのときの座り方は、児童の実態に応じて決めていくとよい。本選びは、平成18年度の幼小連携委員会で作成した「幼児期から小学校入門期へのなめらかな接続をめざして」の「日野市の5歳児が親しむ童話・絵本のベスト50」を参考にする。
- ・児童が、絵を見やすいように、近くに集めたり、児童の首の角度が高くなり過ぎないように絵本を持つ高さや距離間、見えない位置がないかなど配慮したりするとよい。

国語8・9【7日目・9日目】

時間	コマ	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
1/3	1	<p>◆読み聞かせをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が選んだ本を読み聞かせする。 ・毎日読み聞かせをしていくと読書に興味をもたせることができる。 	<p>○どのお話が好きかは、児童によって異なる。児童の様子を見ながら、場合によっては途中でやめるくらいの気持ちで、反応を大事に受け止めながら柔軟に対応する。</p> <p>○読み聞かせをしたい本は、複数用意しておく。</p>
1/3	1		<p>★幼稚園・保育所では、日常的な活動の中に積極的に取り入れているので、小学校でも積極的に取り入れたい。</p> <p>★幼稚園・保育所には、幼児の手の届くところに絵本があり、本を見る機会を多く設けている。</p> <p>★最初に読む本は、「5歳児（園児）が楽しむ童話・絵本のベスト50」参考にするとよい。</p>

国語科

小単元名
指導時数

「おはなしよんで」
【話す・聞く】 2 2 / 3 時間扱い

- ねらい
- ・教員が読むお話を聞き、お話の世界を楽しんで興味を広げる。
 - ・読み聞かせのときの聞き方（ルール）を知る。

学習活動例

国語 10 【9日目・10日目以降】

時間	コマ	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
2/3	1	1 教科書の絵を見て知っている昔話を発表する。 ・いろいろなお話の絵があるので、何のお話か見付けてみよう。	★みんなの前で発表することを好む児童が多い。挙手して発言する習慣を身に付けるように指導を継続していく。
	2	2 知っているお話の筋や絵本の題名を発表する。	○児童になじみのありそうな絵本を用意しておくのもよい。 ★「5歳児(園児)が楽しむ童話・絵本のベスト50」を参考にする。
2時間		1 教員が読むお話を聞く。 ・聞き手から本が見え、聞き手の表情が見えるように座らせる。 2 教員に読んでほしい本を選び、教員の読み聞かせを聞く。 ・感想を言いたい児童は発表する。	★児童を前に集めるときは、いすを入れる習慣に気を付ける。 ★教員や友達の発言を最後まで聞く習慣を身に付けるように指導を継続していく。 ○いつも感想を言わせたり、内容を確認したりすると、お話を楽しめなくなることがある。児童がゆっくりお話に浸ってられるようにする。

(平成19年度日野市教育委員会作成資料 引用)

【参考図書】

「かさじぞう」 福音館書店
「つるにようぼう」 福音館書店
「うさぎとかめ」 岩波書店
「赤ずきん」 岩波書店
「三びきのこぶた」 福音館書店

「はだかの王さま」 岩波書店
「青い鳥」 岩波書店
「かにむかし」 岩波書店
「うらしまたろう」 福音館書店
「花さかじい」 こぐま社

「足柄山の金太郎」(「日本の伝説 東日本編」所収)